

タイパとは

「タイパ」(たいぱ)とは、「タイムパフォーマンス」の略語。

費やされた時間に対するパフォーマンス、つまり能力や効果などの大きさを指す。より少ない時間で大きな効果を得た場合に「タイパが良い」と表現する。

元々は費やされた費用に対するパフォーマンスの大きさを指す「コストパフォーマンス」という言葉がよく使われていた。この場合はコスト、つまりお金に着目。社員の給料や商品の購入費などに対するパフォーマンスを評価していた。しかし、時間はお金で買うことができない。(お金を使うことで時間を短縮できるものもあるが)費用とはまた別の価値、「時間」に着目して評価したのがこのタイパである。

着目しているのがあくまで時間であるため、同じ200円の運賃で同じ場所に行ったとしても、バスと電車で到着時間に15分の差が出た場合は、遅かったほうが「タイパが悪い」と評価される。

<https://numan.tokyo/words/roiuU> より